

# Server Protection マイグレーション

2019/11/15

本書は以下の英語記事の日本語版です。合わせてご参照ください。

[Server Protection Migration](#)

## マイグレーションのゴールと利点

Server Protection マイグレーションのゴールは以下の通りです。

- ソリューションプロバイダ様 (L3)、サービスプロバイダ様(L2) もしくは、企業アカウント (L1) のお客様に対して、ご利用中の PSB サーバセキュリティ製品から最新の PSB Server Protection 製品へマイグレーションするためのコントロールされたプロセスを提供すること。
- アップグレードがエンドユーザー様に対しスムーズで、かつ、業務影響を与えない方法であること。
- アップグレードプロセスの前後でデバイスのセキュリティレベルが同じになるように、アップグレードプロセスの間はセキュリティ設定（プロフィール）を変更変更しないこと。
- きめ細かいプロセスを使って、特定の時間にアップグレードを実施するための簡単な手段を提供すること。

## ハイライト：

- デバイスにまだ割り当てられていないすべてのプロフィールを 2019 年 7 月 31 日に、プロフィール項目における“サーバセキュリティ”のタブの一覧表示から見えなくしました（サーバのプロファイルの検索を容易にするためです。非表示にただけで削除した訳ではありません）。
- ステージ 1 - プロフィール移行 - 個々のプロフィール毎に SOP (L3) / SEP (L2) / 企業アカウント (L1) の管理者が利用できるようになります。
- ステージ 2 - チャネルアップグレード - 個々のライセンスキー毎に SOP (L3) / SEP (L2) / 企業アカウント (L1) の管理者が行うことができます。管理者は、チャネルアップグレードを一旦有効にした後でも、チャネルアップグレードの開始前であれば、ライセンスキー単位でチャネルアップグレードを無効にすることもできます。このチャネルアップグレード自体は、PSB ワークステーションセキュリティから PSB Computer Protection へのチャネルアップグレードと同じ方法で、サイレント、かつ、再起動なしで行います（お客様のご利用環境によっては、例外的に再起動が必要になる場合がありますのでご注意ください）。操作方法を紹介した[英文ビデオ](#)を用意しました。

## デバイスに割り当てられていないすべてのプロフィールを 2019 年 7 月 31 日に“サーバーセキュリティ”タブの一覧から隠す

あるプロフィールが、PSB サーバセキュリティ、または、PSB ワークステーションセキュリティのどちらの製品のプロフィールであるかどうかを知る方法はありません。このため、未だデバイスに割り当てられていないプロフィール、または、企業アカウント (L1) やソリューションプロバイダー (L3) のサーバセキュリ

タイプのデフォルトプロフィールはすべて非表示にしています。これにより、サーバ用プロフィールとして移行したいプロフィールを見つけるのが簡単になります。

2019年7月31日以降にお客様が必要としていたプロフィールが見当たらなくなった場合は、弊社サポートセンターに連絡してください。

管理者権限を持つお客様は、いつでもプロフィール移行とチャンネルアップグレードを実行できますので、プロフィールのクリーンアップを待つ必要はありません。

**注意:** 既にデバイスに割り当てられているプロフィールのすべての親プロフィールも同様に表示されたままにします。

### ステージ 1 : プロフィール 移行 ([英語ビデオ](#))

これは、サーバセキュリティ製品用の既存プロフィールが新しい Server Protection 製品用のプロフィールに移行されるステージです。

- プロフィールの移行プロセスは、既に利用中のサーバセキュリティ、または、その使用中のプロフィールには何も影響を与えません。移行された新たなプロフィール名がプロフィール項目の Server Protection タブ内に作成されるだけです。

自分自身が所有者であるプロフィールに対する[サーバセキュリティ]タブから [Server Protection] タブへのプロフィール移行のみをサポートします。

各プロフィールの後ろの「...」アクションボタンには、「Server Protection にプロフィールを移行」オプションが用意されています。

プロフィール移行の結果は以下のいずれかとなります。

1. プロフィール移行成功。（何もする必要はありません）成功した場合、新しいプロフィール名は“元のプロフィール名”+“-migrated” となります。
2. プロフィール移行成功 – ただし、プロフィール設定内に競合があるため、以下の手順に従ってそれらを解決する必要があります。
3. プロフィールは既にプロフィールへのリンクとして移行されています。この場合、再度移行したい場合は、以前に移行したプロフィールを Server Protection プロフィールのタブのリストから手動で削除する必要があります。

移行後に企業アカウント用の Server Protection のデフォルトプロフィールを手動で定義する必要があります。

**注意:** Server Protection 製品には Computer Protection と同じように Windows ファイアウォールをリモート管理するファイアウォール機能が新たに追加されます。しかし、サーバセキュリティ製品にはファイアウォール コンポーネントがないため、サーバセキュリティで使用していたプロフィールでのファイアウォールの設定やルールは全て新しい Server Protection のプロフィールには移行しません。代わりに、F-Secure によってファイアウォールがあらかじめ無効に設定されている Server Protection のデフォルトプロフィールのファイアウォールの設定値を全て継承します。これは、“[ファイアウォール]> [F-Secure ファイアウォールプロファイルの適用]” 設定を使用して行います。

## プロフィールの競合

プロフィールの移行後にこのプロフィールの競合状態になった場合は、スケジュールスキャンのタスクの設定が適切であることを確認する必要があります。

スケジュール設定されたスキャンタスクに複数のスキャンタスクが設定されている、または、Server Protection 形式に変換できないフィールドを含むタスクが設定されている場合、プロフィールの競合状態になります。Server Protection では1つのスキャンタスクしかサポートされていないため、項目の不一致が少ないスキャンタスクをマイグレーションします。

また、Server Protection 製品には、サーバセキュリティ製品とは異なるスケジュールスキャン機能があります。主なケースは次のとおりです。

ケース 1: マイグレーションする以前のサーバセキュリティのプロファイルに、以下のような2つのスケジュールされたタスクがある場合

毎週月曜日の 9:00 に実行する

毎日 12:00 に実行する

新しい Server Protection プロファイルでは、毎週と毎日のどちらかのタスクを選択する必要があります。同時に両方を使用することはできません。また、複数の実行時間を定義することはできないため、9:00 と 12:00 を組み合わせることはできません。

つまり、このケースではマイグレーションできるのはどちらかのタスクだけとなります。

ケース 2: 次のようなオプションを持つタスクがある場合

システムが 30 分間アイドル状態になっている場合、9:00 に 1 回実行

Server Protection プロファイルでは、1 回だけ実行することはできません。利用可能なオプションは、毎日、毎週、毎月だけです。また、時刻とアイドル時間のオプションを組み合わせることもできません。いずれか一方を選択する必要があります（前の例の毎週と毎日のように）。従って、実際にはこのタスクは、その周期、および、時刻/アイドル時間のオプションを変更せずにマッピングできません。また、古いプロフィールに複数のタスクがある場合は、競合がより少ない別のタスクに優先してスキップしたりすることもできません。

Scheduled scanning tasks ? ↻			
Add task			
Name	Scheduling parameters	Task type	Task type specific parameters
Scan 1 for Local Drives	/t18:00 /ti30 /b2001-10-15 /...	Scan local drives	
Scan 2 for Local Drives	/t18:00 /b2001-10-15 /rwee...	Scan local drives	

移行中に競合が発生した、サーバセキュリティのプロフィールにおけるスケジュールスキャンのタスクの例

## 競合の解決方法

移行を行ったサーバセキュリティのプロフィールの1つにスケジュールスキャンのタスクの競合が含まれている場合は、上記のようにプロフィール内のセクションがハイライト表示されます。必要な変更を行ってから、「同意して公開」ボタンをクリックすることで競合が解決したことになります。

## ステージ 2 - チャネルアップグレード

古いサーバセキュリティ製品から新しい Server Protection へのアップグレードを手動で行うことができます。手動でアップグレードを行うには、既存のサーバセキュリティがインストールされているサーバにおいて Server Protection のインストーラ EXE を実行して、サーバセキュリティ製品を Server Protection 製品に手動でアップグレードできます。

この手動アップグレードでは古いサーバセキュリティ製品は自動的に削除されますが、**再起動が要求されるのでご注意ください**。再起動後に Server Protection 製品のインストールを続行します。

- サーバセキュリティに割り当てられていたプロファイルが既に移行されている場合、移行した Server Protection プロフィールが適用されます。
- サーバセキュリティに割り当てられたプロファイルがまだ移行されていない場合、当該企業アカウントの Server Protection のデフォルトプロフィールが適用されます。

また、手動アップグレードの代わりにお客様が以下のことを行えるようにする機能がチャネルアップグレードとして PSB 管理ポータルで提供されています。

- PSB ワークステーションから新しい Computer Protection へのアップグレードと同じように、**自動かつサイレント**にアップグレードを行う（お客様のご利用状況によっては他の要因で再起動が必要になる場合がありますのでご注意ください）。
  - サーバセキュリティに割り当てられていたプロファイルが既に移行されている場合、移行した Server Protection プロフィールが適用されます。
  - サーバセキュリティに割り当てられたプロファイルがまだ移行されていない場合、当該企業アカウントの Server Protection のデフォルトプロフィールが適用されます。
- 同じ1つのライセンスキーに属するすべてのサーバに対して特定の時間にアップグレードを行う。

これは以下の様に機能します。

1. PSB 管理ポータルの「ライセンス」項目に移動し、Server Protection のライセンスキーの [...] ボタンをクリックします。「チャンネルアップグレードを有効にする」操作を選択します。これにより、このライセンスキーを使ってインストールされたすべてのサーバセキュリティのアップグレードが直ちに有効になります。

注意: PSB 管理ポータルでのライセンス表示上は、サーバセキュリティは Server Protection と表示されますので、ご注意ください。

The screenshot shows the PSB management portal interface. The main content area is titled 'ライセンス' (Licenses). A table lists the following licenses:

製品	ライセンス キーコード	タイプ	使用方法	有効期限	
Computer Protection Premium	[Redacted]	評価	2 / 10	継続	⋮
Server Protection	[Redacted]	評価	1 / 5	継続	⋮

A tooltip is displayed over the three-dot menu icon for the 'Server Protection' license, showing the following options:

- 削除されたコンピュータの一覧を消去する
- チャンネルアップグレードを有効にする

2. それらは次の1時間以内に自動的にアップグレードが開始されます。これをスピードアップしたい場合は、直ちにアップグレードしたいサーバセキュリティのデバイスに対し「ステータスアップデートを送る」操作を行うか (①)、

17台のデバイス

17台のデバイス (3)

検索: コンピュータを検索

別なされたコンピュータ: 1    モバイル デバイスをフィルタリングする    製品の種類: サーバ    カテゴリ: 概要

デバイス名	企業名	全体保護	Rapid Detection and Response	マルウェア保護	ファイアウォール	自動更新	ソフトウェアのアップデート	指定プロファイル	操作	レベル
win-87r82 ppigsh	201808-Computer Protection-Evaluation-Account	保護されています	-	有効	未インストール	最新	重要なアップデートはインストール済み	Server	0	

1台のデバイスを選択しました

ステータス アップデートを...    スキャン    ソフトウェア アップデート...    指定    デバイスを削除する

ネットワークの隔離

F-Secure v.10.1782

または、サーバセキュリティのデバイスにて「更新を確認する」ボタンを押してください。(2)

F-SECURE SERVER SECURITY

## 自動更新

admin ログアウト

ホーム

**自動更新**

リアルタイム スキャン  
ブラウザ保護  
マニュアル スキャン  
ファイルの隔離保存デー...  
ソフトウェア アップデーター

設定  
管理  
サポート

全般    ダウンロード

### 統計情報

チャンネル名	RDP	<b>更新を確認する</b>
チャンネル アドレス	psb3-bw.sp.f-secure.com	
前回のアップデート	F-Secure DeepGuard Update 2019-11-05_01	自動アップデート ログを表示
前回の確認時間	2019/11/06 10:05:13	
前回の確認 (結果)	新しいものではありません	
<b>次回の確認時間</b>	<b>2019/11/06 11:05:13</b>	
前回の確認時間 (成功)	2019/11/06 10:05:13	

### 自動更新

パターン ファイルの更新

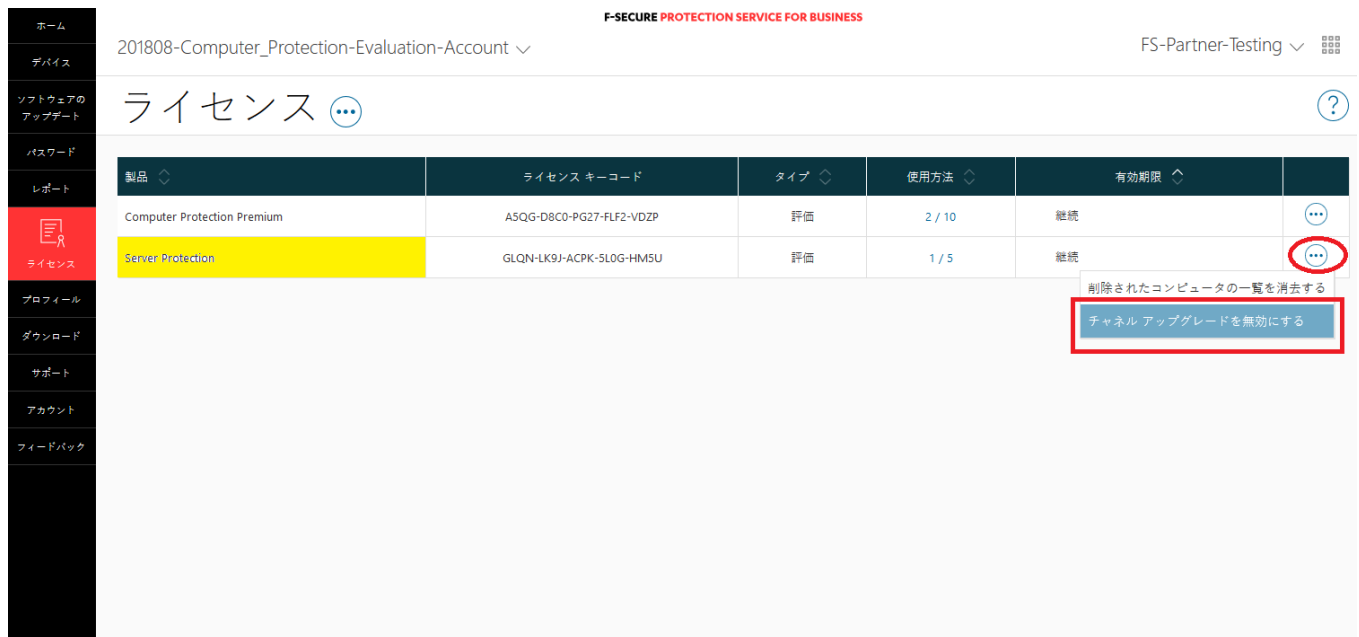
インターネット接続の確認: 常に接続済みと想定

プロキシを使用する: ブラウザの設定を使用する

ユーザ指定のプロキシ:

①、②の操作を行わなかった場合、「次回の確認時間」(前回の確認時間から1時間後)に更新の確認が行われ、そのタイミングでアップグレードが自動的に行われます。

開始したチャンネルアップグレードをキャンセルしたい場合は、管理ポータルの当該ライセンスキーに対し「チャンネルアップグレードを無効にする」を選択してください。チャンネルアップグレード前であればいつでもキャンセル可能です。キャンセルした場合は、再度有効にすることで再開可能です。



The screenshot shows the 'ライセンス' (Licenses) page in the F-Secure Protection Service for Business management portal. The page header includes the account ID '201808-Computer\_Protection-Evaluation-Account' and the user 'FS-Partner-Testing'. The main content is a table of licenses:

製品	ライセンス キーコード	タイプ	使用方法	有効期限	
Computer Protection Premium	A5QG-D8C0-PG27-FLF2-VDZP	評価	2 / 10	継続	⋮
Server Protection	GLQN-LK9J-ACPK-5L0G-HM5U	評価	1 / 5	継続	⋮

Below the table, there are two buttons: '削除されたコンピュータの一覧を消去する' and 'チャンネルアップグレードを無効にする'. The latter button is highlighted with a red box, indicating the action to be taken.

## プロフィールマイグレーションとチャンネルアップグレードのフェーズに対する今後の改善

お客様からのフィードバックに基づいて、プロフィールとチャンネルアップグレードのリストをライセンスキーのリストにマイグレーションする機能の提供を検討する予定です。

### 既知の問題点

#### チャンネルアップグレードによるネットワークバンド幅への影響

- チャンネルアップグレード中、新しい Server Protection 製品のクライアントをダウンロードする必要があります。1台あたりのダウンロードするサイズは 150 MB より少し小さいのですが、多くのアップグレード対象のサーバセキュリティのサーバが低速リンクのネットワーク内に存在する場合、ダウンロードする全体のサイズが結果的に大きくなるためにネットワークの速度が低下する可能性があります。この問題を解決するには、[F-Secure エンドポイントプロキシ](#)と通常の HTTP キャッシュプロキシを導入する必要があります。Server Protection 製品と関連データベースをキャッシュすることで、ネットワーク帯域幅使用量を大幅に削減できます。

チャンネルアップグレードにおいて、コンピュータが自動的にアップグレードされないことがある。この場合、アップグレードするために行うことができるいくつかのアクションがあります。

- 不足しているソフトウェアの更新をインストールする：古いバージョンのオペレーティングシステムでは、多数の重要なセキュリティ更新プログラムがインストールされていないために、コン



コンピュータが更新されないことがあります。この場合、通常、不足しているセキュリティ更新プログラムをインストールすることによって解決されます。例えば、PSB 管理ポータルにてデバイスリストでコンピュータを選択し、"ソフトウェアアップデートをインストール" 操作を使用します。

- 空きディスク容量を確保する：正しくアップグレードするには、お使いのコンピュータに最低 600MB の空きディスク容量が必要です。
- ライセンスキーの空きを設ける：ライセンスキーが全て使用中の場合、アップグレードが妨げられたり、遅くなったりすることがまれにあります。未使用のコンピュータがある場合は、PSB 管理ポータルで“デバイスを削除する” 操作を使用することをお勧めします。
- 再起動する：場合によっては、新しいクライアント製品は再起動後にのみインストールされます（再起動待ちとなっていますが、アップグレード自身では再起動をトリガーしないため）。
- そのまま待つ：F-Secure では古いクライアントに対するチャネルアップグレードを定期的に再試行させています。クライアントは 3 回アップグレードを試み、次のトリガーを待ちます。

アップグレード後にコンピュータがライセンスキーを登録できない

- “自動ルート証明書の更新を無効にする” 設定が有効になっている場合、Server Protection インストーラで使用されるルート証明書が更新できません。詳細については、以下の英文 Knowledge Base を参照してください。

[Installing Server Protection fails or the installation does not show up in the PSB portal if the root certificates are not up to date](#)

以上